

【アマゾン移住に関する年表】

- 1908 明治 41 ブラジル第 1 回移民船「笠戸丸」乗船者 781 人がサントス港に到着
- 1922 大正 11 前田光世（コンデ・コマ）がベレンに定住
- 1923 大正 12 パラー州知事が田付駐ブラジル大使にアマゾン地域日本人移民による開発を要請。
- 1925 大正 14 パラー州知事が土地 50 万ヘクタールの譲渡を確約
- 1926 大正 15 鐘淵紡績株式会社が資金を捻出しアマゾンへ福原八郎を団長とする調査団を派遣
- 1927 昭和 2 山西源三郎と粟津金六がアマゾナス州の土地 100 万ヘクタールの譲渡契約を結ぶ
- 1928 昭和 3 田中義一首相兼外相が「南米アマゾン川流域開拓問題協議会」を開催
南米拓殖株式会社設立
アマゾン興業株式会社設立
- 1929 昭和 4 拓務省設立
南米拓殖株式会社派遣第 1 回入植者 189 名が、アカラ植民地に到着
- 1930 昭和 5 国士館高等拓殖学校創立（32 年（昭和 7）年日本高等拓殖学校に改称）
上塚司、アマゾナス州パリンチンスにアマゾニア産業研究所を設立
アマゾン興業株式会社第 1 次隊マウエス入植
- 1931 昭和 6 高拓第 1 回生がパリンチンスのピラアマゾニアに到着
大阪 YMCA 海外協会による「アマゾン開拓青年団」がパラー州モンテアレグレに入植
アカラ野菜組合結成される
- 1932 昭和 7 崎山比佐衛（海外植民学校校長）が一族 10 名とともにマウエス入植
- 1933 昭和 8 臼井牧之助が南洋種胡椒苗 20 本を持ち込む
- 1934 昭和 9 尾山良太農場（アマゾニア産業研究所）にてジュート優良品種が発見され「尾山種」と命名される
- 1935 昭和 10 南米拓殖株式会社が事業を大幅に縮小
アカラ野菜組合、アカラ産業組合に改組
- 1935 昭和 11 アマゾニア産業株式会社設立
- 1940 昭和 15 アマゾン興業株式会社がアマゾニア産業研究所に吸収合併される